

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-019040
 (43)Date of publication of application : 23.01.1989

(51)Int.Cl.

C07C 59/42
 C07C 59/46
 C07C 59/48
 C07C 59/56
 C07C 59/58
 C07C 59/62
 C07C 59/64
 C07C 69/73
 C07C 99/00
 C07C101/30
 C07C103/173
 C07C103/58
 C07C149/20
 C07C149/40
 C07D521/00
 // A61K 31/16
 A61K 31/19
 A61K 31/215
 A61K 31/40
 A61K 31/445
 A61K 31/535
 C07C 29/136
 C07C 33/02
 C07C 47/21
 C07D295/18

(21)Application number : 62-176798

(71)Applicant : SUMITOMO PHARMACEUT CO LTD

(22)Date of filing : 14.07.1987

(72)Inventor : NAKAMURA TOSHIO
 KAWAKAMI HAJIME
 ONO KEIICHI

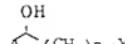
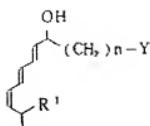
(54) NOVEL UNSATURATED FATTY ACID DERIVATIVE

(57)Abstract:

NEW MATERIAL: A compound expressed by formula I [Y is free or esterified carboxyl or formula II; R_a, R_b are H, lower alkyl, lower cycloalkyl, aralkyl, phenyl which may have a substituent group (halogen or lower alkyl) or 5-W7- membered heterocyclic ring as NR_aNb; R₁ is alkyl, alkenyl, alkynyl, cycloalkyl, cycloalkenyl, hydroxy-substituted alkyl, heterocyclic group, phenyl, etc.; n is 2, 3 or 4] or salt thereof.

EXAMPLE: (5E,7E,9Z)-4,11-Dihydroxy-nonadeca-5,7,9- trienoic acid-N,N-dimethylamide.

USE: A leukotriene B₄ antagonistic agent or immunoregulator useful as an antiallergic agent, anti-



inflammatory agent, carcinostatic agent, antirheumatic agent, etc.

PREPARATION: A compound expressed by formula III is reduced to afford the aimed compound expressed by formula I.

④日本国特許庁 (JP)

④実用新案出願公開

④公開実用新案公報 (U)

昭64-19040

④Int.Cl.4

識別記号

序内整理番号

④公開 昭和64年(1989)1月31

F 02 D 41/04

3 1 0

G-8011-3G

9/02

3 4 1

K-7604-3G

3 6 1

H-7604-3G

29/02

V-8011-3G

// B 60 K 26/10

Z-6948-3D審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

④考案の名称 エンジンの吸気制御装置

④実 願 昭63-21804

④出 願 昭63(1988)2月23日

優先権主張 ④昭62(1987)2月24日④日本(JP)④実願 昭62-24926

④考 案 者 長瀬 昌臣 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

④考 案 者 長繩 忠久 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

④考 案 者 土肥 義彦 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

④出 願 人 トヨタ自動車株式会社 愛知県豊田市トヨタ町1番地

④代 理 人 弁理士 青木 朗 外4名

明細書

1. 考案の名称

エンジンの吸気制御装置

2. 実用新案登録請求の範囲

少なくとも1つのリンクレススロットルバルブ 5
を吸気通路に介装した車載エンジンの吸気制御装置において、

車両が停止しているか否かを判定する車両停止
状態判定手段と、

ニュートラルあるいはクラッチ「断」等、エン
ジン出力の駆動輪への伝達が遮断されているか否
かを検出するエンジン空転状態検出手段と、 10

車両停止中且つエンジン空転状態において、エン
ジン回転数が所定回転数以上に維持され、エン
ジン温度が所定温度以上となることが予想される
運転状態にあるか否かを検出するレーシング状態
検出手段と、 15

レーシング状態が検出されたとき、前記リンク
レススロットルバルブを閉じ側に制御する制御手
段とを設けたことを特徴とするエンジンの吸気制 20

(1)

509

実開64-19040

御装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はエンジンの吸気制御装置に関し、更に詳しくはリンクレススロットルバルブを有する車載エンジンの吸気制御装置に関する。 5

〔従来の技術〕

最近の自動車用エンジンにおいては、H C 対策や燃費改善等のために減速運転時に燃料カットを行なう燃料カットモードと、エンジンの過回転を防止するために例えば 7000 rpm 等の所定のエンジン回転数以上で燃料カットを実行する高速燃料カットモードが備えられているのが一般的である。 10

このうち高速燃料カットモードにおいては、エンジンの過回転を防止することによりエンジン部品の損傷防止、排気系の過加熱を防止すると共に燃料消費を低減させることを主眼点としている。このエンジン高速回転時における過回転防止のための燃料カットは、従来一般的に、エンジン回転 15 20

数が一定の燃料カット回転数を超えたときに燃料噴射弁からの燃料噴射を停止することにより行なうようにさせている。この方法においては、スロットルバルブが閉じられるまでは、燃料カット回転数近傍で燃料カットと復帰とを繰返し、エンジンがハンチングした状態で高速回転を続けることになる。従ってこのような状態が運転者の意図の有無にかかわらずしばらくの間継続すると、エンジンの各部摩耗や劣化を促進し、特に触媒コンバータ搭載車両においては、触媒の温度を急速に上昇させその劣化を促進するという問題を有していた。

このような問題点を改善するために、特開昭60-128957号には、高速燃料カット一復帰が継続しているときには、燃料カット回転数を徐々に低めるように制御するエンジンの過回転防止方法が開示されている。また本出願人は、先に出願した特願昭61-104864号において、高速燃料カット一復帰が継続しているときには、燃料カット回転数及び燃料復帰回転数を徐々に下降させると共に、両

5

10

15

20